

政策別コスト情報総括表

1. 政策にかかるコスト

(単位:百万円)

区 分	コスト計 (A)=(a)+(b)+(c)		内 訳										(参 考) 自己収入
			I 人にかかるコスト (a)			II 物にかかるコスト(庁舎等を含む。) (b)			III 事業コスト(その他事業コストを含む。) (c)				
					(a)/(A)			(b)/(A)				(c)/(A)	
1.安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること	17,871,293	23.5%	38,936	15.2%	(0.2%)	3,597	8.2%	(0.0%)	17,828,759	23.6%	(99.8%)	8,123,778	
2.安心・快適な生活環境づくりを衛生的観点から推進すること	87,502	0.1%	10,091	3.9%	(11.5%)	1,024	2.3%	(1.2%)	76,386	0.1%	(87.3%)	-	
3.ディセントワークの実現に向けて、労働者が安心して快適に働くことができる環境を整備すること	1,139,167	1.5%	38,751	15.1%	(3.4%)	3,918	8.9%	(0.3%)	1,096,497	1.4%	(96.3%)	1,002,250	
4.意欲あるすべての人が働くことができるよう、労働市場において労働者の職業の安定を図ること	2,169,822	2.9%	108,910	42.4%	(5.0%)	6,220	14.2%	(0.3%)	2,054,691	2.7%	(94.7%)	2,002,434	
5.労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境整備をすること	136,365	0.2%	1,245	0.5%	(0.9%)	275	0.6%	(0.2%)	134,844	0.2%	(98.9%)	144,875	
6.男女がともに能力を発揮し、安心して子どもを産み育てることなどを可能にする社会づくりを推進すること	2,233,863	2.9%	2,823	1.1%	(0.1%)	1,067	2.4%	(0.0%)	2,229,972	2.9%	(99.8%)	253,225	
7.ナショナル・ミニマムを保障し、利用者の視点に立った質の高い福祉サービスの提供等を図ること	2,925,611	3.8%	2,933	1.1%	(0.1%)	648	1.5%	(0.0%)	2,922,029	3.9%	(99.9%)	-	
8.障害のある人も障害のない人も地域でともに生活し、活動する社会づくりを推進すること	1,373,455	1.8%	6,735	2.6%	(0.5%)	758	1.7%	(0.1%)	1,365,961	1.8%	(99.5%)	45	
9.高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進すること	47,929,577	63.1%	5,305	2.1%	(0.0%)	2,975	6.8%	(0.0%)	47,921,296	63.3%	(100.0%)	32,308,886	
10.国際化時代にふさわしい厚生労働行政を推進すること	21,370	0.0%	6,187	2.4%	(29.0%)	1,368	3.1%	(6.4%)	13,814	0.0%	(64.6%)	-	
11.国民生活の向上に関わる科学技術の振興を図ること	63,976	0.1%	5,388	2.1%	(8.4%)	557	1.3%	(0.9%)	58,029	0.1%	(90.7%)	-	
官房経費等	51,005	0.1%	29,538	11.5%	(57.9%)	21,467	48.9%	(42.1%)	-	0.0%	(0.0%)	-	
合 計	76,003,012	100.0%	256,847	100.0%	(0.3%)	43,880	100.0%	(0.1%)	75,702,284	100.0%	(99.6%)	43,835,496	

## 2. 参考情報(各政策に配分した官房経費等の額)

(単位:百万円)

区 分	コスト計 (A)=(a)+(b)+(c)		内 訳								
			I 人にかかるコスト (a)			II 物にかかるコスト(庁舎等を含む。) (b)			III 事業コスト(その他事業コストを含む。) (c)		
				(a)/A		(b)/A		(c)/A			
1.安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること	8,823	17.3%	2,748	9.3%	(31.1%)	6,075	28.3%	(68.9%)	-	0.0%	(0.0%)
2.安心・快適な生活環境づくりを衛生的観点から推進すること	2,958	5.8%	815	2.8%	(27.6%)	2,143	10.0%	(72.4%)	-	0.0%	(0.0%)
3.ディーズネットワークの実現に向けて、労働者が安心して快適に働くことができる環境を整備すること	3,938	7.7%	2,145	7.3%	(54.5%)	1,792	8.4%	(45.5%)	-	0.0%	(0.0%)
4.意欲あるすべての人が働くことができるよう、労働市場において労働者の職業の安定を図ること	21,865	42.9%	19,464	65.9%	(89.0%)	2,400	11.2%	(11.0%)	-	0.0%	(0.0%)
5.労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境整備をすること	654	1.3%	175	0.6%	(26.9%)	478	2.2%	(73.1%)	-	0.0%	(0.0%)
6.男女がともに能力を発揮し、安心して子どもを産み育てることなどを可能にする社会づくりを推進すること	1,270	2.5%	475	1.6%	(37.4%)	794	3.7%	(62.6%)	-	0.0%	(0.0%)
7.ナショナル・ミニマムを保障し、利用者の視点に立った質の高い福祉サービスの提供等を図ること	1,552	3.0%	416	1.4%	(26.9%)	1,135	5.3%	(73.1%)	-	0.0%	(0.0%)
8.障害のある人も障害のない人も地域でともに生活し、活動する社会づくりを推進すること	2,937	5.8%	1,033	3.5%	(35.2%)	1,903	8.9%	(64.8%)	-	0.0%	(0.0%)
9.高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進すること	1,589	3.1%	426	1.4%	(26.9%)	1,162	5.4%	(73.1%)	-	0.0%	(0.0%)
10.国際化時代にふさわしい厚生労働行政を推進すること	3,291	6.5%	883	3.0%	(26.9%)	2,407	11.2%	(73.1%)	-	0.0%	(0.0%)
11.国民生活の向上に関わる科学技術の振興を図ること	2,123	4.2%	951	3.2%	(44.8%)	1,172	5.5%	(55.2%)	-	0.0%	(0.0%)
合 計	51,005	100.0%	29,538	100.0%	(57.9%)	21,467	100.0%	(42.1%)	-	0.0%	(0.0%)